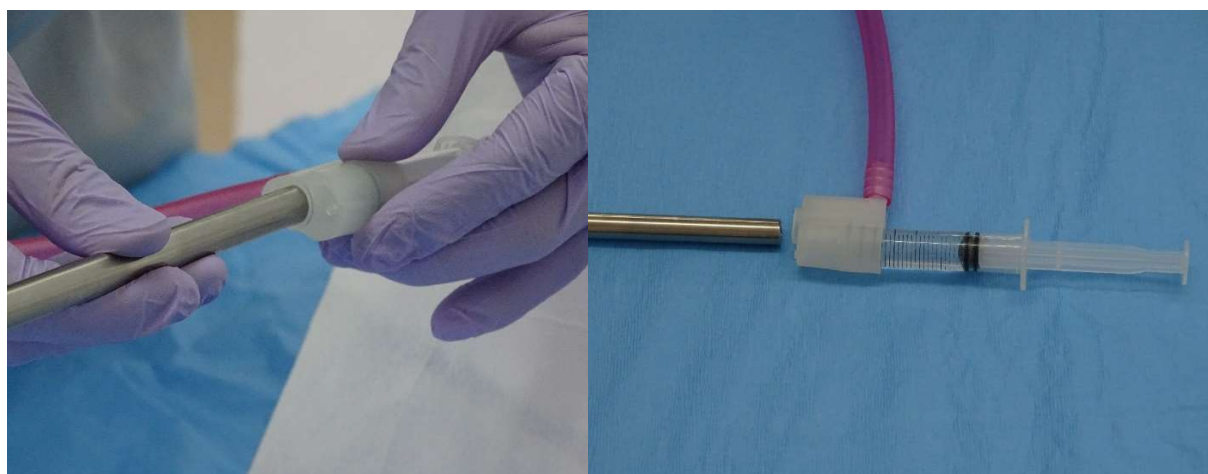


2019年12月12日

報道関係者 各位

## 群馬大学発の内視鏡外科用医療機器が 日本内視鏡外科学会の賞を受賞



群馬大学医学部附属病院先端医療開発センターの浅尾高行センター長・教授が発明し、鹿島エレクトロニクス株式会社（群馬県北群馬郡吉岡町陣場203 TEL：0279-54-5211）と共同開発した新しい方式の腹腔鏡の先端レンズ洗浄器具が、第32回日本内視鏡外科学会総会（小澤壯治大会長）の「医工連携企画」において、内視鏡手術の進歩への貢献が評価され「クリスタル・アワード」という賞を受賞した。

### 1. 本件のポイント

- クリスタル・アワードは、優れた「医工連携」の成功事例を顕彰するもの。医療従事者が発案し、国内のものづくり企業と連携して製品化し、現在も市販されている医療機器であることが要件。

- 新技術は、内視鏡のスコープ（カメラ）の汚れの除去を「拭う」から「洗う」に転換したこと。手術中の良好な視野を確保するとともにクリーニングにかかる時間を短縮し、これらにより安全な手術を支援する。
- 新技術は浅尾高行センター長が発明し、群馬大学による出願をもとに、本学が鹿島エレクトロニクス株式会社と共同で製品化し、2018年2月から同社がスプラッシュクリンの名称で発売している。

## 2. 本件の概要

今回受賞した医療機器は「スプラッシュクリン」。

腹腔鏡手術では手術中にスコープの先が血液などで汚れて視野が悪くなる。従来はガーゼで拭き取っていたが、本発明品は42度くらいに加温した滅菌精製水、滅菌済み生理食塩水により5秒で汚れを洗い流す。

手術中に必ず利用する吸引器の陰圧を利用して、高速の水流で洗浄する仕組みの医療機器である。

## 3. 授賞式

2019年12月6日（金）18：20から、パシフィコ横浜（〒220-0012神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1）の第32回日本内視鏡外科学会総会「医工連携企画」の会場で行われた。

## 4. 経過

2016年3月群馬大学と鹿島エレクトロニクス株式会社が共同研究契約締結、同年9月両社が特許実施許諾契約書締結、2018年2月に同社が発売。

### 【本件に関するお問合せ先】

群馬大学医学部附属病院 先端医療開発センター 教授 浅尾 高行

群馬大学昭和地区事務部総務課広報係

TEL : 027-220-7895 FAX : 027-220-7720

E-MAIL : m-koho@jimu.gunma-u.ac.jp